

レジメン名	(BS) R-CHOP (2コース目以降)			
対象がん種		対象患者		嘔吐リスク 中等度
				1コースの日数 21
				投与予定回数 5~7
内服抗がん剤の有無	あり			投与回数上限 7
※有の場合薬剤名	プレドニゾン (点注の場合はなし)			

副作用情報(頻度が高い、特徴的な副作用など)			
項目	頻度(%)	対処法(減量・中止など)	
血液毒性	好中球減少	90.0%	
	貧血	65.0%	
	血小板減少	25.0%	
その他	末梢神経障害	50.0%	VCR減量・中止、薬剤(プレカバリ)
	悪心・嘔吐	42.0%	制吐剤
	便秘	38.0%	下剤

レジメン内容(支持療法を含む)

Rp	薬剤名	投与量	投与方法	投与速度・時間	投与時刻(必要時)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	生理食塩液	50mL	点滴静注	100mL/hr		●																				休業完了
2	ボラミン 生理食塩液	5mg 50mL	点滴静注	100mL/hr		●																				
3	リツキシマブBS 生理食塩液	375mg/m2 337.5mL/m2	点滴静注	100mg/hから開始可、医師の指示により30分毎100mg/hずつ上げて400mg/hまで		●																				
4	オンコピン 生理食塩液	1.4mg/m2 (最大2mg) 50mL	点滴静注	500mL/hr		●																				
5	ドキシソルピシン 生理食塩液	50mg/m2 100mL	点滴静注	200mL/hr		●																				
6	エンドキサン 生理食塩液	750mg/m2 250mL	点滴静注	250mL/hr		●																				
7	生理食塩液	50mL	点滴静注	100mL/hr		●																				

内服抗がん剤・支持療法薬

Rp	薬剤名	投与量	用法	day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	プレドニゾン	50mg/body or 30mg/m2	朝・昼食後		●●	●●	●●	●●	●●																
2	グラニセトロンゼリー or カイトリル	2mg	化学療法前		●																				
3	イブプロフェン	200mg	リツキシマン30分前		●																				
4	他、適宜ST合剤、G-CSFなど																								

滴下順

主管

投与方法

薬剤・用量

投与速度/時間

投与時刻(必要時)

漏出時リスク

フィルター

遮光

備考

① 点滴静注 生理食塩液 50mL 100 ml/h	② 点滴静注 ボラミン 生理食塩液 5mg 50mL 100 ml/h	③ 点滴静注 リツキシマブBS 生理食塩液 375mg/m2 337.5mL/m2 備考欄参照	④ 点滴静注 オンコピン 生理食塩液 1.4mg/m2 (最大2mg) 50mL 500 ml/h	⑤ 点滴静注 ドキシソルピシン 生理食塩液 50mg/m2 100mL 200 ml/h	⑥ 点滴静注 エンドキサン 生理食塩液 750mg/m2 250mL 250 ml/h	⑦ 点滴静注 生理食塩液 50mL 100 ml/h
		軽度起炎症性 フィルター不要 バッグ、ルートともに遮光不要 100mg/hから開始可、医師の指示により30分毎100mg/hずつ上げて400mg/hまで	起壊死性 フィルター不可 バッグ、ルートともに遮光不要	起壊死性 フィルター不可 バッグ、ルートともに遮光不要	炎症性 フィルター不要 バッグ、ルートともに遮光不要	